

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [大牟田市立平原小学校] 担当教諭名 [姉川理穂・浅山伊津子・溝上尚子(教務主任)] (6年1組・あじさい学級 22名)

交流相手国 [ケニア]

海外学校名 [St.Vitalis Nanga Primary School] 担当教諭名 [Ochieng Jeconia O / 堀 泰洋(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	「夢を探そう」	6
		「世界遺産めぐり」	2
	図画工作	「表し方を工夫して」	5
	外国語活動	「英語で自己紹介をしよう」	2
「将来の夢」		2	

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	
	「将来の夢 そして、未来に向かって大切にしていきたいもの」
絵に込めたメッセージ	「自分の夢」「未来に向かって大切に守ってしていきたいもの」をお互いに交流し、絵に表していった。将来自分が就きたい職業を表す人物を中心に、未来にわたって大切にしていきたいお互いの国の特徴的な建造物、自然などを周りに描いた。全体を囲むようにつないだ虹は、ケニアと日本の友情と自分たちが将来掛け橋になっていく思いを表現している。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・遠いケニアのことを知り、興味を持って調べることができた。ケニアがどこにあるかすら知らなかった子ども達が、ケニアを身近に感じ一生懸命に調べ、まとめることができた。 ・一枚の壁画になった絵を見て、言葉は違っても気持ちは通じることを実感し、達成感・充実感を得ることができた。 ・国が違って、自分たちと同じように夢を持ったり、大切にしていきたい物があったりすることを感じることができていた。日本だけでなく、世界に視野を広げるきっかけとなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・軌道に乗るまでが手間取り、必要以上に時間を要した。 ・Skype での交流も考えましたが、時差があり実現できなかった。動画・写真での交流も日常業務の関係で送る時期が少し遅くなったりした。 ・英語に堪能な教員がいないため、交流する時に苦労した。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・ケニアに興味がなかった子ども達が、ニュースでケニアの報道が流れると気になって見るなど、ケニアへの関心が高まった。 ・ケニアの生活の様子や現状を知ること、国が違うと思えば描く夢や大切に思っていることも様々に異なることを理解し、違いを認め合おうとする意識が出てきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師自身がケニアに興味を持ち、たくさん調べた。国が違えばいろんな思いや願いが違い、その違いを認めていく子ども達に育てていかなければならないと痛感した。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	<ul style="list-style-type: none"> ケニアからの紹介ビデオの鑑賞会を開く。 学校長の挨拶文を送信した。 英語で自己紹介のカードを準備し写真をフォーラムにアップした。 	<ul style="list-style-type: none"> ケニアからのビデオに写っている、ケニアの自然や子ども達の様子を喜んで見ていた。肌の色や言葉、学校生活の様子の違いをあらためて感じ、驚いていた。 	総合1 英語2
テーマ学習	10月～ 12月	<ul style="list-style-type: none"> ケニアのことをインターネットや本で調べた。 自分の夢についての学習を進め、職業の紹介などをフォーラムにアップした。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来の夢について真剣にGTの方の話を聞いたり、その仕事に就ける方法を調べたりしていた。交流する中で、ケニアの友達も同じように夢を持っていることを実感していた。 	総合3 英語2
構図決定	11月	<ul style="list-style-type: none"> 構図や壁画の内容について話し合い、ラフスケッチをフォーラムにアップし意見交換をした。 	<ul style="list-style-type: none"> テーマを大切に思うとともに、共同制作ならではの良さが出るにはどうしたら良いかを考え、活発に話し合いを行っていた。 	総合1 図工1
壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画のリーダーを中心に実物大の下絵を作成。キャンバスにカーボンで下絵を写し、色塗りを進めた。 全ての手順をビデオに撮り、フォーラムにアップした。 	<ul style="list-style-type: none"> リーダーが中心となり下絵を進め、全員がカーボンで写す作業を行った。色塗りがグループ毎に範囲を決め、手順良く丁寧に塗っていた。完成した時は大きな拍手が起こった。 	総合2 図工4
鑑賞・振り返り	3月	<ul style="list-style-type: none"> 共同制作した絵を鑑賞した。 ケニアとの交流を振り返り、感想を書き交流した。 卒業式会場に飾り、保護者の方にも見てもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ケニアの友達が、自分たちの気持ちをくみ取り、上手くつなげて絵を描いてくれていることに感動していた。 自分たちの活動を振り返り、達成感と満足感を感じていた。 	総合1

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	あらためて日本の特色や良さを見つめ直すとともに、自国の文化や今の生活を大切にしようとする気持ちをもつことができた。
異文化の理解	A	4	自分たちの文化とは全く違う国が世界にあることを知り、詳しく調べたい思いを持って学習を進めることができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	英語の自己紹介や自分の夢を伝えるカード作りで、LGTの先生に自分から質問をする姿が見られた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	インターネットを利用し、ケニアのことを積極的に調べていた。動画や写真を撮るときは、相手に伝わるように心がけていた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	5	学級の友達の意見をできるだけ取り入れようと、お互いの意見を尊重しながら話し合っていた。ケニアからの連絡を心待ちにしたり、絵を通して相手の気持ちを理解しようとしていた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	自分の役割や仕事分担に責任を持ち、休み時間も返上して作業を進める姿が見られた。終始和やかな雰囲気で作成できた。
学習を追究する意欲	B	4	ケニアに対する気持ちが持続していた。活動が終わることを寂しがる姿が多く見られた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	4	教師のアドバイスを受けながら、自分たちの夢や思いをどう表現すればよりよく伝わるかをみんなで考え表現できた。
作品を鑑賞する力	B	5	ケニアの友達と思いが一つにつながったことを実感したり、肌の色の違いや職業について意見を述べたりしながら鑑賞できた。